

庶民の生活

「お定書」は我々庶民の毎日の生活を律する心得書きで、別名「二日読み」と呼ばれ、肝煎と呼ばれた「町内会長」の家で毎月読み上げられ、私達の守らねばならぬ掟が書かれてある。

百姓は、着るものの色合いや、百姓の食べ物は常々雑穀を食べて、米をみだりに食べてはいけない等、厳しい決め事があつた。

この書き物は、現在図書館に保管されている。

